

POLE

北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」
号外 1990, 6, 29

発行

北海道ポーランド文化協会

〒060 札幌市中央区北2西2

道特会館 NDA画廊内

電話 011-221-8672

ポロ文協例会誌(第十一回)

ポーランド音楽について

ー 解説とピアノ演奏 ー



Prof. Lidia Kozubek

リディア・コズベック教授

(ワルシャワ音楽院ピアノ科)

【日時】 七月二一日(土) 午後二時三十分より

【場所】 国際交流プラザ

(住所) 札幌市中央区北1西3

札幌MNビル

【入場】 無料

【主催】 北海道ポーランド文化協会

【後援】 札幌国際交流プラザ

※詳しくはポ文教事務局または大竹(電話六一一

二〇三三)までお問い合わせ下さい。

ポロ文協例会誌(第十一回)

ポーランド映画の世界(第三回)

クシシュトフ

キエシロフスキの

アマチュア

●ポーランド映画の新しい波を象徴する作品。

モスクワ映画祭グランプリ、グダニスク映画祭
グランプリ受賞作品。東京に続いて全国で二番
目に上映。

●上映に先立ち、本間富雄氏による作品の解説が
二十分程度行われます。

●会員以外の方も入場できます。おさそい合わせ
の上、ふるってご参加を。

【日時】 七月二十六日(木)

午後六時開場、六時三十分上映

【場所】 大谷会館

(住所) 札幌市中央区北三西一

(電話) 二四一七四〇一

【解説】 「人の目レンズの目」

本間 富雄 氏

(札幌学院大学教授)

【入場料】 本会会員 八〇〇円

【主催】 北海道ポーランド文化協会

【共催】 イメージ・ガレリオ

※詳しくはポ文教事務局または中島(電話二三二

九三五五)までお問い合わせ下さい。

運営委員会より1995年12月27日(水)の運営委員会では主に次のようなことが話し合われました。

1. ショパンについての例会
1996年3月8日(金)18時からかでの2・7 510研修室で開くとに決定しました。講演者三浦洋さん。20才までのショパンについて未発表の作品にまつわるエピソードを中心にサロン形式でやりたいという希望です。
2. 創立10周年にむけての準備について
- ①メイン行事 1996年11月8日(金)かでの2・7で音楽会を開くことが決まりました。具体的な内容については次の運営委員会で検討することになりました。
- ②1997年に第二回のポーランドツアーを実施してどうかという案が出されました。このことについては折にふれて検討していきます。参加したいと考えている方は今からその心づもりをしておいてはいかがでしょうか。

ポーランド めわられた

本の値段は、インフレより早いスピードで高くなった。一九九四年に比べると三五%高くなり、ポーランド人は、年平均一冊しか買わなかった。これは、紙代と印刷代が高くなったためである(紙は輸入品が多いため)。しかし、政府は今年七月、雑誌と新聞に使う紙の税金を取り消した。

(ポリティカ

一九九五年十二月三十日号)



(ポーランドの人口)
昨年五月六日におこなわれた人口調査で、ポーランドの人口は、三八六二万人となった。そのうち、六二%の人が都会に住んでいる。
一九八八年から、七四〇万人増加。その増加の内訳は、都会で二・六%、田舎で〇・九%。男性千人に対し、女性一〇五七人である。男性の三十才台で三人に一人が独身で、結婚が遅くなって来ている。
学歴は、大学卒業者七%、高校卒業者二七%、中学校・専門学校卒業者二六%、小学校卒業者三四%、小学校を卒業していない人六・四%。
(ポリティカ
一九九六年一月二十日号)

会費の納入を

お願い致します

ポ文協の会計年度は十月一日から翌年の九月末日までです。新年度が始まりましたので、会費を納入して下さいますようお願い致します。

会費の年額は、普通会员二、〇〇〇円、維持会員は一口五、〇〇〇円、団体会員は一口三〇、〇〇〇円となっています。

このPOLLEをお送りする封筒に同封したメモに、あなたの会費年額を記してあります。また、会費の滞納がある場合には、そのことも記してあります。

なお、会費の納入には、同封の振り替え用紙をご使用いただくと、送金手数料が掛かりません。

総会で一九九五〜六年度の事業計画と予算をお決めいただき、さらに創立十周年をめざして活動を広げようということになりましたが、財政基盤が無ければこれらの実施は不可能となります。どうかよろしくお願ひします。

「ポーレ」編集委員会

小笠原正明・斎田道子

佐々木保子・安田誠子

〔連絡先〕621-1738(斎田)

POLE 号外(1990.6)目次

〈第 11 回例会〉「ポーランド音楽について」(解説とピアノ演奏:リディア・コズベック教授[ワルシャワ音楽院 ピアノ科]1990.7.11)、〈第 12 回例会〉「ポーランド映画の世界」③クシシュトフ・キェシロフスキ監督『アマ チュア』(解説「人の目レンズの目」本間富雄、1990.7.26)のお知らせ…………… 1
運営委員会報告、ポーランドあれこれ(週刊誌「ポリティカ」より)…………… 2